

令和8年度第1回教育研究評議会議事要録

日 時 令和8年4月15日(水) 14時30分から16時40分まで
場 所 S-Port 3階大会議室(主会場)
事務局棟5階大会議室(遠隔会場)
出席者 日詰、塩尻、金原、佐藤、二又、大石、鈴木、大島、高倉、大橋、吉川、粟井、堀、国京、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本、福田、宮原、加藤、西村、江口、平井、水谷、原和彦、近藤、今泉、青木、間瀬、小林の各評議員
陪席者 飯田、河島の各監事、中村、小野、原正和、峰野の各学長補佐
森田学長特別補佐

I 前回議事要録の承認

令和7年度第11回教育研究評議会議事要録について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1. 学部・研究科等の研究業績説明書について

大橋委員から、学部・研究科等の研究業績説明書について、資料1により説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 第4期中期目標期間における実施体制の変更について

大橋委員から、第4期中期目標期間における実施体制の変更について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

III 報告事項

1. 令和8年度第1回企画戦略会議(令和8年4月8日)報告

議長から、令和8年度第1回企画戦略会議(令和8年4月8日)について、資料3により報告があった。

なお、二又委員から、G1(ソーシャルウェルネスの実現)の推進について、第1回研究者交流会を6月4日14時30分から浜松キャンパスにおいて開催する予定である旨の説明があった。

また、金原委員から、研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書について、及びAI for Science 科学研究革新プログラム(チャレンジ型)公募申請に係る学内締切並びに提出までのスケジュールについて、補足説明があった。

2. 令和8年度静岡大学入学試験状況について

塩尻委員から、令和8年度静岡大学入学試験状況について、資料4により報告があった。

3. 令和7年度卒業・修了者の進路状況について

大島委員から、令和7年度卒業・修了者の進路状況について、資料5により報告があり、今後、5月1日現在の進路状況調査を最終版として報告する予定である旨の説明があった。

4. プロジェクト研究所の設置について

金原委員から、プロジェクト研究所の設置について、資料6により報告があった。

5. 電子ジャーナル転換契約によるオープンアクセス出版について

小林委員から、電子ジャーナル転換契約によるオープンアクセス出版について、資料7により報告があった。

6. 名誉研究フェローの称号授与について

金原委員から、名誉研究フェローの称号授与について、資料8により報告があった。

7. 学長選考・監察会議の審議状況について

山本委員（学長選考・監察会議副議長）から、学長選考・監察会議の審議状況について、資料9により報告があった。

なお、小西委員から、「学長選考における教職員の活動に関する指針」について、教授会構成員への説明に用いるため、山本委員から口頭で報告があった検討経緯や理由に関する内容を文書化し、教授会等で配付可能な説明資料として提供してほしい旨の要望があり、これに対し、佐藤委員から、事務局において対応し、資料を整理して評議員へ提供する旨の説明があった。

8. 業務改善・省力化について

興津総務部長から、業務改善・省力化について、資料10により報告があった。

なお、小西委員から、今回の資料作成に当たり実施した調査について、回答方法を次回から簡略化してほしい旨の要望があり、興津総務部長から、今年度は令和3年度に実施した調査と比較するために詳細な調査を行ったため、次年度以降は業務負担を考慮した方法を検討する旨の説明があった。

また、間瀬委員から、教職員のメールアカウントについて、「@shizuoka」及び「@cii」の複数のアカウントが存在しており、連絡の見落としの懸念があるため、学生と同様に統一してほしい旨の要望があった。

さらに、二又委員から、特定の時期に特定の者へ業務が偏る傾向があるが改善策はあるのかとの質問があり、これに対し、佐藤委員から、毎月の事務協議会において時間外労働の状況等について情報共有していること、入試業務対応時期及び人事異動後の時期に業務が偏る傾向があること、データにより状況を把握しているため、今後個別に対応していきたい旨の説明があった。

9. 法定会議の議事進行について

興津総務部長から、法定会議の議事進行について、資料 11 により報告があった。

議長から、委員から出された意見等を踏まえ、本件については来月から実施し、不都合があれば随時見直していくこととする旨の説明があった。

＜委員から出された意見等＞

小西委員：報告事項の議事に関して、従来は口頭で説明していた要点を資料に含めることが習慣化されなければ、内容を十分に理解することが困難になるのではないかと。

議長：説明を要する事項と資料確認をもって足りる事項がある。今後は議長が議題ごとに判断し、資料の確認のみでは把握しにくい内容については、説明者から口頭説明を行ったうえで質疑を実施する。

福田委員：学部において対応が必要な事項については、その旨が明確に分かるよう説明してほしい。

山本委員：説明を省略し過ぎることは適当ではなく、議長判断のみにより、説明する議題を選別することにも懸念があるため、説明者が簡潔に説明することで、会議時間を短縮していく方向が望ましいのではないかと。

間瀬委員：概要説明書の作成に当たっては AI を活用するとともに、概要説明書に各部局等への依頼事項（各部局等で対応すべき事項）を明記してほしい。

佐藤委員：会議時間の見直しへの対応も重要であることから、概要説明書に要点をしっかりと記載したうえで、説明を省略する事項と要する事項にメリハリをつけて運用し、問題が生じた場合は柔軟に見直しを行うこととしたい。

近藤委員：委員への資料配付については、会議前日ではなく、できる限り早期に提供してほしい。

10. 役員・部局長等について

議長から、役員・部局長等について、資料 12 により報告があった。

11. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料 13 により報告があった。

12. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等について、資料 14 により報告があった。

IV その他

1. キーウ大学への寄附について

粟井委員から、キーウ大学への寄附に係る協力依頼があり、学内に寄附箱を設置する旨の説明があった。

以 上